

令和2年度 第2回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和2年10月26日（月） 13時30分～

場所：宗像市役所 本館3階 304会議室

出席者（敬称略）

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石山 さゆり	○	井川 春奈	○	蟹川 美和	○
小森 雅子	○	入江 有希子	○	北村 昌一	○
山田 雄三	欠	永嶋 久子	○	占部 圭司	○
中村 裕	○				

1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進懇話会 会長 石山さゆり

○委員、●事務局

2 議事録署名人選出

議事録署名人： 井川 春奈 委員

3 議事

(1) 前回議事録について（資料なし・配付済）

●修正無し、承認

(2) 令和元年度男女共同参画プラン評価について（資料1・2）

・ABC評価について（資料1）

・記述評価について（資料2）

●前回会議で委員評価の提出をお願いしたところだが、委員からの質問があったため、再度事業担当課にヒアリング等行い、評価の修正含め、8月に質問と回答を各委員に送付している。その上で、委員の評価が提出されているところ。

●資料1 ABC評価は、各委員評価を数値化・集計し、懇話会の評価としてまとめている。資料2は、基本施策ごとの評価を記述で評価いただいているものをまとめている。この意見を意見書に盛り込んでいる。修正などあれば申し出頂きたい。

○評価の修正もれ（事業番号19）があるので対応いただきたい。

●対応する。（達成度A⇒B）

○懇話会評価も修正するか。

●事務局修正を受けて、懇話会評価も修正する事も可。協議いただきたい。

○懇話会評価はこのままA評価とする。

(3) 令和元年度実施状況報告に対する意見書(案)について（資料3）

●毎年懇話会から市長へ、意見書を提出している。今年度も、基本施策ごとの評価（資料2）を元に、事務局案（資料3）を作成した。総括は石山会長作成の案をもとに、事務局で調整し作成したもの。

●（意見書内容について説明）すべての意見を盛り込む事は難しいが、主要な意見が出来るだけ反映するよう作成している。ご意見いただきたい。

- 意見書の内容に同意。情報を得にくい世代や家庭があると思う。情報格差が困難を加速させるように思う。そのようなところに啓発を届けてほしいと思う。
- IT化が進んでいると思うが、高齢者・弱者にわかりやすいよう進めてほしい。
- コミュニティの中では、ただ女性役員を増やせということしか言われず、役員選考でも声かけはされるが、実際にはあまり考慮されていない。意見書に「地域コミュニティ単位で」とうたわれている。地域が具体的にどうしたらいいのか、是非指導してほしい。
- 宗像市での女性登用も徐々に上向いているとは思いますが、さらに進めてほしい。
- 自分は漁業者の妻。漁業は男社会で、話し合いに女性は入れない。女性の意見を受け入れてくれない男性も多い。自立したいという女性も多いがなかなか難しい。
- 子どもたちの世代から意識を変えていかなくてはいけない。意見書の中でも若い世代への取り組みを進めてほしい旨が書かれている。
- 修正があれば修正した上で、会長の確認で決定してよろしいか。
- (了承)

(4) 第3次宗像市男女共同参画プラン(案)の策定について(資料4)

- (資料番号4参照)目次のページ数等は、最終段階で調整し記入するので未記入。全体として、第1章では計画の目的、国内外・市の情勢を記載、第2章では、計画と法令や他計画との関係、基本理念や体系等、計画の全体像を記載、第3章では、具体的な事業内容となっている。第3章のあとに、資料として法令、用語解説等が付く。
- 1章計画策定の目的と背景については、第2次後期プランを参照し、5年間の情勢の変化を加筆し作成している。第2次プランと比べると、読みやすくするために文章の量を少なく抑えている。
- 2章計画の概要について、1計画の位置づけでは、関連する法律などについて触れ、どの章が何の法律とかかわりがあるか記載。2次プランでは、どの項目がどの法律に関わる計画にあたるかまで記載がなかったが、今回は関わる法律が一つ増えた(女性活躍推進法)ので、わかりやすくするためにどの章がその計画にあたるかまで記載
- ※【資料の一部修正】基本目標2=女活としているが、基本目標2・3=女活と訂正
- 計画の期間は5年間である。
- P6では、懇話会で昨年決定していただいた基本理念について、男女共同参画推進条例との関連を記載している
- P7では、4宗像市の現状と課題について記載。平成30年に実施した市民意識調査の結果と、その分析を元に、現状と課題を記載している。各分野の現状と課題は、第3章の各論の中で記載しているため、ここでは全体概要のみ記載。
- P15の6重点項目について、評価方法の変更に伴い、今回から評価の枠組みとなる重点項目を設定している。項目の1~5は、計画の中の基本目標と合わせている。この項目ごとに参考指標(目標値)を設定し、毎年重点項目ごとに評価を行うことを考えている(目標値については第3章の後で説明、評価方法については、後ほど評価についての所で説明)。
- P16の7計画の推進については、第2次プランとほぼ同様の内容となっている

- 基本目標4の「(4) 貧困・高齢・障がい等により困難を抱えた人が安心して暮らせる環境の整備」については、「困難のある人が安心して暮らせる環境の整備」から表現を変えている。
- 第3章については、語句の修正や、担当課とのヒアリングの中で修正などがあった。対照表を配布しているのので、大きく変わった点について説明する。
 - ・事業番号12：農業振興課の家族経営協定の推進については、今後、宗像市で具体的な取り組みを積極的に進める方向にないということで削除。農作業ヘルパー事業支援については、女性の就業分野（P25）へ移動。女性グループ等の人材育成の支援は、複数課で対象が違うが同じ様な事業内容であったので、まとめて記載。
 - ・事業番号11：類似内容をまとめて記載。
 - ・事業番号18：DV等の防止について、子ども育成課の事業について、具体的取り組み無しということで削除。
 - ・事業番号22：「DV家庭」と言う表現の修正。
 - ・事業番号33：保育所等の研修について、以前は保育所職員研修助成の事業があったが、令和元年度で終了となったので子ども育成課としての事業はなくなった。男女共同参画推進課の事業として整理している。
- 数値目標について、数値目標がないと取り組みの評価がしづらいという意見が、以前より懇話会の中で出ていた。今回、数値目標を基本目標ごとに設定したいと考えている。
 - ①審議会等の女性登用…40%
 - ※最新値36.1%
 - ②市の役職職者女性比率…30%
 - ※最新値25.9%
 - ※特定事業主行動計画で設定されている目標
 - ③R6までに待機児童解消
 - ※子ども子育て支援計画で設定されている目標
 - ④DV相談窓口の周知…80%
 - ※宗像市調査データなしのため、国等の調査結果を参考
 - ⑤男女共同参画社会の周知度…80%
 - ※宗像市調査データなしのため、国等の調査結果を参考
- 目標①～③については、従来から調査しているものであるため、毎年状況・数値が把握できる。目標④・⑤については、これまで調査していないため、今後市民アンケートで調査し、毎年把握していく。数値目標がこの項目でいいのか、目標値が適正か、ご意見頂きたい。
- 待機児童数の解消は、実現可能な目標か。
- 現在1・2歳児の待機児が毎年発生している状況で、この対策に重点的に取り組むと聞いている。昨年策定した第2期宗像市子ども・子育て支援事業計画でも設定し、すでに取り組んでいる目標である。
- 是非達成に向けて取り組んでほしい。
- 現在の待機児童の発生状況は。宗像市は比較的待機児童が少ないという認識だが。
- 1・2才児の待機児童数は25名となっている。他の年齢では待機児は発生してい

ないとのこと。

- 待機児童25人というのは本当だろうか。子育てしやすい宗像市のために、待機児童問題については、頑張って取り組んでほしい。
- 待機児童数については、園を選んで待機している（選ばなければ入園できる）という人は数に入っていないので、保育園に入れられないという実感よりも少ない数字になっているのではと思われる。
- 男女共同参画という言葉の周知度について日の里地区で調べた際、言葉を知らないという人が多かった。ただ、内容を説明して男女共同参画に関わる問題に関心があるかと尋ねると、関心があると言う人も多かった。知っていますか、と言うだけでなく、積極的に内容を問いかけていかななくてはいけない。若い人は関心のあると言う人が多かったが、若い人にまかせようというだけでもいけない。
- 市民アンケートは、性別年齢等の属性別に結果が出るので、分析を元に対象層に合わせた啓発・働きかけをしていきたい。
- 国の調査でも、男女共同参画の認知度は70%を切っている。現在は市の状況データがないので、まずは市の状況を把握した上で、取れる対策を取っていきたい。
- コミュニティの中に男女共同参画会（や部会）がない地区が多い。女性の役員を増やすよう働きかけをしており、少しずつ女性役員が増えているものの、やはり男性中心に意思決定されるような雰囲気があり、女性の意見が反映できるような組織にはまだ変わっていない。数だけでなく、内容も変わって行かなくては。
- コミュニティの中で、地域の負担感が課題となっている。負担軽減のための事業棚卸しに取り組んでいるところ。これを好機と捉えており、地域の意思決定に女性など多様な視点を入れるということも負担軽減に寄与すると考えている。男女共同参画推進課としても関わっていきたい。
- 分かりやすく評価できるようなプランになることを期待している。
- パブリック・コメントで公表する最終案は、今回の案を元に会長と調整・確認をし公表するということがよろしいか。
- （了承）

(5) 第3次宗像市男女共同参画プラン（案）の評価方法について（資料5）

- （資料5参照）プランの進行に際して、毎年行う評価の手法については、パブリック・コメントにかけるものではないが、プラン開始までに定める必要がある。
- 現行プランでは、①事業ごとのABC評価は評価しづらい（事業の実施状況がわかりづらい）、②事業ごとのA評価が多いからといって全体として男女共同参画が進んでいるかどうか評価できない、という課題があった。
- 3次プランの評価手法として、以下の観点で見直しを考えている。
 - ・現在意見書としてまとめている「記述評価」を中心とした外部評価を行うこと
 - ・男女共同参画の進捗度が分かりやすい評価形式にすること
 - ・委員負担の軽減

以上のことから

- ・事業ごとのABC評価は市の自己評価として行う
- ・事業単位でなく基本目標単位（5つ）で数値目標設定や評価（従前意見書でおこなっていた記述評価）を行う

という方向で考えている

- （A3資料：プランの進行管理シートの案）男女課評価と担当課評価は、今回から統合している。また、懇話会評価は、整理し、今回からなくなっている。
- （A4資料：福岡市等の評価手法を参考にした、外部評価シート素案）まだ実施状況の記載の仕方等は検討中。ABC評価の実施状況をそのまま転記すると文量も多くなり見にくいので、まとめて記載したい。
- 担当課評価には、事業ごとのABC評価の集計結果を記入する。施策の進行状況、課題、今後の取組についてはヒアリングでの各課聞き取りを元に男女共同参画推進課が文章で記入する。達成度は、3段階もしくは5段階程度で記入（自己評価及び懇話会による外部評価）。さらに、現在の意見書でいただいている記述評価を、審議会意見欄に記載。
- 一連の評価方法は、第2次プラン同様、評価マニュアルとしてまとめたい。次回懇話会では、重点項目評価シートを、もっとつめた状態で提示し、評価方法として5年間の進め方を決定したい。この内容で進めてよろしいか、皆様のご意見をいただきたい。
- 良いと思う。
- これまで、紙面上だけで実施状況を見て評価を付ける難しさがあった。改善内容についてはいいと思う。
- 3～5段階評価の審議会は具体的にはどうやってつけるのか。
- 審議会の中で、市の自己評価が妥当かどうか等の観点で協議し、評価をいただきたいと考えている。次回会議でもう少し具体的に評価シートについて検討をお願いしたい。

4 事務連絡

- ・議事録について…次回会議で承認
- ・次回日程について…後日、日程を調整し案内を送付

次回予定

第3回宗像市男女共同参画推進懇話会（1月予定）

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

井川春奈

